

「市民企画会議

『寄り合いアップデートラボ』

加茂市民センター×泉区中央市民センター（区拠点館）

1 事業概要

加茂地域では、地域の団体がそれぞれに交流を図りながら活発に活動を行っています。しかし、活動を牽引してきた人々の高齢化が顕著で、若い世代への継承、世代交代が喫緊の課題となっています。

地域には、若い世代も多く住んでいますが、仕事や子育てに忙しく、行事や活動に積極的に参加することは難しいようです。それでも子供たちのために何かをしたい、力になりたいという父親や母親は多数存在しています。この事業ではそうした若い世代の親たちが楽しく集い、子供たちのために講座の企画運営をし、地域の活性化に繋げていくことを目指しています。



2 令和6年度の活動



令和6年度は、複数年事業の2年目ということもあり、昨年度のアンケートや反省を基に、さらに地域の子どもたちが楽しめる場を作るにはどうしたら良いか話し合いを重ねました。「加茂フリーマーケット」から一歩踏み込んでステージ発表や子どもたちの体験コーナーを拡充し、企画名を「KAMO フェス」としました。昨年の課題であった開催時期を再検討し、広報は出演者・出店者からも積極的に発信を行いました。企画員の持つ様々な地域ネットワークを活用して友人・知人に協力を仰ぎながら、地域に世代を超えて新たなつながりが創出できるようなイベントを開催しました。

3 成果と課題

KAMO フェスの広報に関して、近隣の地域だけでなく区内の市民センターや児童館、さらには店舗等でもポスター掲示を依頼するなど、参加者が集まるように工夫しました。KAMO フェスには、21店の出店と4つのステージ出演など40名以上の方にご参加いただき、200名を超えるお客様が来場されました。過ごしやすい季節の開催、また広報の成果もあり、昨年より多くの親子連れでにぎわいました。参加団体同士が交流する場面も多く見られ、地域に新たなコミュニケーションの場を提供することができました。フリーマーケットや体験コーナー、ステージ発表を通して、世代を超えた参加者同士が交流し、地域のネットワーク作りにもつながりました。来年度以降は各コーナーのさらなる充実が課題と考えています。



4 今後の展望

「KAMO フェス」というイベントを通して、子育て世代をはじめとした地域住民が市民センターで交流を深め、ネットワークを広げる場を創出できました。今後はさらなる地域活性化を目指し、広く住民に対し本事業の活動を広報していき、隣接する地域の団体とも情報交換の場を設けるなどしながら、さらに活動を充実させていきたいと考えています。